

第27回



生きている地球の記録

2021年グリーンイメージ国際環境映像祭入賞作品上映会

2021 sun
7.18
10:00~16:09
(開場 9:30)

入場無料
定員**120**名

要整理券

名古屋市科学館 サイエンスホール 生命館地下2階

地下鉄「伏見駅」4番・5番出口徒歩約5分
市バス「広小路伏見」または名鉄バス「白川公園前」下車

- 主催** 公益財団法人三菱UFJ環境財団
名古屋市科学館・中日新聞社
- 共催** グリーンイメージ国際環境映像祭実行委員会
- 後援** 愛知県教育委員会

申込方法

観賞ご希望の方は、往復はがきに郵便番号、住所、応募者全員の氏名と年齢（中学生以下・高大生・大人の別）、電話番号、返信用の住所・宛名を記入して下記まで申し込むか、インターネットにてお申しください。
(はがきは1葉5名様まで、応募者多数の場合は抽選。)*※重複申込があった場合は全ての申込が無効となります

照会先: 名古屋市科学館「生きている地球の記録」係 あるいは (公財)三菱UFJ環境財団 TEL (03)5730-0337 FAX (03)5232-0312

往復はがき

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番1号
名古屋市科学館「生きている地球の記録」係
TEL (052) 201-4486
FAX (052) 203-0788

インターネット / 名古屋市電子申請サービス

パソコン用 <https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/>
携帯電話用 <https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/m/>

*「利用手引き」や「よくある質問」をお読みの上、お申込をお願いします。
*「キーワード検索」で「名古屋市科学館」と入力



Screening Schedule

※海外作品は、日本語字幕もしくは日本語吹き替えとなります。
※プログラムは変更することがございます。

10:00~11:14

グリーンイメージ大賞

いのち播く女たち 一母たちの大地

(バレー / 74分)

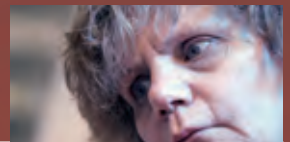


11:30~11:41

グリーンイメージ賞

ヒト科ヒト属

(オランダ / 11分)



昼食休憩

12:40~13:27

グリーンイメージ賞

たづ鳴きの里

(日本 / 47分)

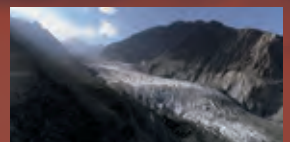


13:40~14:30

グリーンイメージ賞

パキスタン 一溶けゆくヒマラヤ

(シンガポール / 50分)

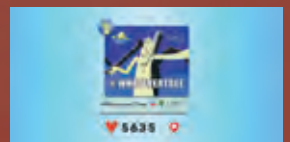


14:40~14:52

グリーンイメージ賞

ワットエバートゥリー

(カナダ / 12分)

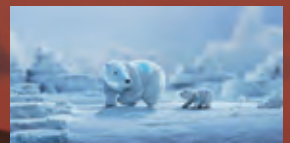


14:52~15:01

グリーンイメージ賞

移民ホッキョクグマ

(フランス / 9分)

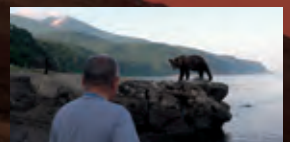


15:20~16:09

審査委員特別賞

ヒグマと老漁師
一世界遺産・知床を生きる

(日本 / 49分)



応募締め切り

7月3日(土) 必着

取得した個人情報は本事業の
運営目的以外には使用しません

新型コロナウイルスの感染状況により、内容変更・開催中止の可能性あります。

生きている地球の記録

2021年7月18日(日)上映作品紹介



グリーンイメージ賞

10:00~11:14

いのち播く女たち 一母たちの大地

Mothers of the Land

(ペルー / 74分)

アンデス高地に生きる5人の女性たち。農業や遺伝子組み換え種子を使う工業的農業が主流となった中、伝統的な有機的方法で農耕を続けようと奮闘する彼女たちの日々を追う。

ペルー / 2019 / 74分 / ケチュア語・スペイン語(日本語・英語字幕)
プロデューサー・監督: Alvaro SARMIENTO & Diego SARMIENTO
製作・配給: HDPeru



グリーンイメージ賞

11:30~11:41

ヒト科ヒト属

The Human

(オランダ / 11分)

「人間」をネーチャーフィルム風に観察記録するとどう見えるのか? 人と自然との関係性を風刺するショートドラマ。

オランダ / 2019 / 11分 / 英語(日本語字幕)
プロデューサー・監督: Harko WUBS
製作・配給: Hark'oh Film

昼食休憩



グリーンイメージ賞

12:40~13:27

たづ鳴きの里

Tazunaki no Sato

(日本 / 47分)

北海道長沼町の農家が100年以上前に姿を消したタンチョウを呼び戻す活動を始めた。洪水対策として造られた遊水地に湿地を復活させ、ツルの繁殖を目指すものだ。空き地が湿地へと変わっていく中、別の動物が訪れて農業被害が起き、ツルを追いまわす撮影者も現れる。住民と農業とツルの共存を目指して模索を続ける農民たちの1500日。

日本 / 2020 / 47分 / 日本語(英語字幕)
プロデューサー: 坂本 英樹 / 監督: 沼田 博光
製作: 北海道テレビ放送



グリーンイメージ賞

13:40~14:30

パキスタン 一溶けゆくヒマラヤ

Pakistan's Himalayan Meltdown

(シンガポール / 50分)

「雪の家」という意味の名であるヒマラヤの氷河は、気候変動により、今世紀末までに3分の1が溶けると予測されており、南アジアの約20億人への水の供給が脅かされている。インド・パキスタンの間で起こっているシアチェン氷河を巡る紛争、パキスタンの首都カラチで横行している水泥棒、気候変動緩和のための植林政策など、水を巡る最前線のレポート。

シンガポール / 2020 / 50分 / 英語(日本語字幕)
プロデューサー・監督: Shehzad Hameed AHMAD
製作: Mediacorp Pte Ltd



グリーンイメージ賞

14:40~14:52

ワットエバートウリー

WhateverTree

(カナダ / 12分)

ある1本の枯れ木が、生きものたちを惹きつけ、自然を愛する人々を惹きつけ、大勢のSNSフォロワーたちを惹きつける。ソーシャルメディア時代の人と自然の関係を切り取るアニメーション。

カナダ / 2020 / 12分 / 言語なし
プロデューサー・監督・製作・配給: Isaac KING



グリーンイメージ賞

14:52~15:01

移民ホッキョクグマ

Migrants

(フランス / 9分)

地球温暖化によって北極に住めなくなった2頭のホッキョクグマ。生きる場所を求める旅の中で、ヒグマに出会い、共生しようと試みるのだが……。愛らしいめいぐるみアニメーションで描かれるこの世界の寓話。

フランス / 2020 / 9分 / 言語なし
プロデューサー: Carlos De CARVALHO /
監督: Hugo CABY, Antoine DUPRIEZ, Aubin KUBIAK,
Lucas LERMYTTE, Zoé DEVISE
製作: Pôle 3D / 配給: Je Regarde



審査委員特別賞

15:20~16:09

ヒグマと老漁師

一世界遺産・知床を生きる

Bearman of Hokkaido

(日本 / 49分)

世界自然遺産登録から15年目の北海道・知床。その奥地にある、ヒグマの世界的密集地帯ルシャにカメラを据え、人とヒグマが共存する姿を36年にわたって克明に記録した。野生のヒグマを叱る老漁師の姿を通して、西洋的な自然観とは異なる、「人も自然の一部にすぎない」という日本特有の自然観が浮かび上がる。

日本 / 2020 / 49分 / 日本語
プロデューサー: 松宮 健一 / 監督: 矢内 智大
製作: NHK札幌拠点放送局